

令和4年産 大雲仙トマト病害虫防除基準



令和4年 初版
JA島根雲仙南部基幹営農センター

基本的には、耕種的防除を徹底し減農薬栽培(当地比5割以上減)に努め、病害虫が発生したら下記の薬剤により防除を行う。

化学農薬の成分散布回数は27回以内(育苗時10回以内、定植後17回以内)とする。(植物成長調整剤も含む)

害虫侵入予防とマルハナ蜂導入のため、定植前にハウスのサイド、谷部、ビニールの無いところすべてに防虫ネットを必ず被覆する。又、黄色粘着板の設置を行い、減農薬栽培に努める。

↓同系統の連続散布は避ける。										
時期	病害虫名	基幹防除	RACコード 分類	薬剤名	化学農薬成分回数	倍数	使用時期	総使用回数	蜂への影響	備考
は種時	コナジラミ類	★	4A	ベストガード粒剤	1回	5g ² /±1% 1~2g ²	播種時 育苗期	1回	30日	育苗培土混和 株元処理
	アブラムシ		4A	アドマイヤー1粒剤	1回	1鉢1g ²	鉢上げ後		35~45日	株元処理
	疫病・葉かび病	★	M05	ダコニール1000	1回	1,000倍	前日	4回	1日	育苗期のみ使用
	ハスモンヨトウオオタバコガ		6	アフーム乳剤	1回	2,000倍	前日	5回	2日	
	コナジラミ類		4A	ベストガード水溶剤	1回	1,000~2,000倍	前日	3回	15日	
	ハモグリバエ		4A	バリアード顆粒水和剤	1回	2,000~4,000倍	前日	3回	1日	
	コナジラミ類, アブラムシ		4A	スタークル顆粒水溶剤	1回	2,000~3,000倍	前日	2回	14日以上	
定植時	コナジラミ類, アブラムシ	★	28	プリロソン粒剤	1回	2g/株(株元散布)	育苗期後半~定植時	1回	1日	どちらかのみ 使用可能
			4A	モスピラン粒剤	1回	1株1g ²	定食時株元散布 土壌混和	1回	1~3日	
			4A	スタークル粒剤	1回	1株1~2g ²	育苗期株元散布~ 植穴土壌混和	1回	14日以上	
コナジラミ			9B	コルト顆粒水和剤	1回	4,000倍	前日	3回	西洋種3日、在来種5日	
			4C	トランスフォームフロアブル	1回	1000~2000倍	前日	2回	5日	
成虫多い場合上記農薬 と混用して散布	↑		23	クリアザールフロアブル	1回	2000~4,000倍	前日	2回	1日	コナジラミ幼虫
			30	グレーシア乳剤	1回	2,000倍	前日	2回	1日	

11月 以前	コナジラミ類		28	ベネビアOD	1回	2,000倍	前日	3回	1日	展着剤混用不可
			4A	モスピラン顆粒水溶剤	1回	2,000倍	前日	2回	1~3日	
			4A	モスピランジェット	1回	400m ³ 当り50g	前日		1日	くん煙剤
			5	ダブルシューターSE	なし	1,000倍	前日	2回	3~7日	高温混用注意
			6	アニキ乳剤	1回	1,000~2,000倍	前日	3回	1日	コナジラミ類
			6	アフーム乳剤	1回	2,000倍	前日	5回	2日	トマトサビダニ
12月 ~ 2月	疫病	★	40	レーバソフロアブル	1回	1,500~2,000倍	前日	合計	1日	予防
			49・40	オロンディスウルトラSC	2回	2,000倍	前日		2回	0日
			27-11	ホライズンドライフロアブル	2回	1,500~2,500倍	前日	合計	1日	
			27-40	ベトファイター顆粒水和	2回	2,000倍	前日		3回	0日
			22	エトフィンフロアブル	1回	1000倍	前日	4回	0日	
	45-40	ザンプロDMフロアブル	2回	1500倍	前日	3回	1日			
	灰色かび病	★	7	パレード20フロアブル	1回	2,000~4,000倍	前日	3回	1日	葉かび、うどんこ病
			11	ファンタジスタ顆粒水和剤	1回	2000~3000倍	前日	3回	1日	菌核病
			7	アフエツフロアブル	1回	2,000倍	前日	2回	1日	菌核病、葉かび病
			7	カンタスドライフロアブル	1回	1,000~1,500倍	前日	合計	0日	菌核病、葉かび病
7-11	シグナムWDG	2回	2,000倍	前日	2回	1日	葉かび、すすかび病			
すすかび病			3	スコア顆粒水和剤	1回	2000	前日	3回	0日	葉かび病
トマトサビダニ			6	コロマイト乳剤	なし	1,500倍	前日	2回	1~3日	
3月 以降	葉かび病		3	トリフミン乳剤	1回	2,000倍	前日	5回	0日	
			3	ラリー乳剤	1回	2,500~5,000倍	前日	3回	0日	
			7	ネクスターフロアブル	1回	1000倍	前日	3回	0日	うどんこ病
	灰色かび病		12	セイビアフロアブル20	1回	1,000~1,500倍	前日	3回	0日	
			10-2	スミブレンド水和剤	2回	2,000倍	前日	3回	1日	低温時薬害
	コナジラミ類	★	4C	トランスフォームフロアブル	1回	1000~2000倍	前日	2回	5日	
			28	ベネビアOD	1回	2,000倍	前日	3回	1日	展着剤混用不可
			9B	コルト顆粒水和剤	1回	4,000倍	前日	3回	西洋種3日、在来種5日	
4A		4A	スタークル顆粒水溶剤	1回	2,000~3,000倍	前日	2回	14日以上		
			トマトトーン	1回	50~100倍	開花時	1花房に1回	1日		
ジベレリン			1回	10ppm	開花時	1花房に1回	1日			
化学農薬成分回数					27回以内					

農薬成分カウント及び使用回数制限無し農薬

成分	薬剤名	化学農薬成分回数	倍数	使用時期	総使用回数	蜂への影響	備考
灰色かび病	菌	なし	ポトキラー水和剤(ダクト内投入)	10~15g/10a/日	-	0日	
	ポトキラー水和剤		1000倍	発病初期		0日	
葉かび病	菌	なし	インプレッションクリア	1,000~2000倍	-	0日	
	炭酸水素カリウム		カリグリーン	800倍		発病前~初期	0日
疫病	無機銅	なし	コサイド3000(銅剤)	1,000倍	-	0日	単用
			クリーンカップ(菌+銅)	1,000倍		前日	0日
うどんこ病ダニ	硫黄	なし	イオウフロアブル	500~1,000倍	-	1日	単用、汚れ注意
オオタバコガ	菌	なし	エスマルクドライフロアブル	1,000倍	-	0日	
コナジラミ	調合油	なし	サフオイル乳剤(スカッシュ1000~2000倍加用)	300倍	-	0日	高温、軟弱障害
	デンペン	なし	粘着くん液剤	100倍	-	0日	乾き早い
	ホリグリセリン脂肪酸エステル乳剤	なし	フーモン	1000倍	-	0日	高温、軟弱障害
	ソルピタン脂肪酸エステル	なし	ムシラップ	500倍	-	0日	高温、軟弱障害
コナジラミ忌避剤	グリセリン酢酸脂肪酸エステル	なし	ベミデタッチ	500倍	-	0日	1週間間隔で8回~12回程度



- ・薬剤による土壌消毒は行わない。・ハウス内に除草剤は使用しない。
- ・表中の時期は基準であり、病害虫の発生時期に応じて上記薬剤を使用する。

